

病院のお仕事いろいろ

“移植”治療を 選択肢のひとつに



レシピエント
移植コーディネーター
看護部西病棟8階
副看護師長

多田 亜沙香
(ただ あさか)

腎移植は、腎臓を提供する方(ドナー)と腎臓をもらう方(レシピエント)の間で行われる医療で、献腎移植(亡くなられた方から腎臓をいただく)と生体移植(親族から腎臓をいただく)の2つがあります。ドナーとレシピエントの治療がスムーズに進むよう支援するのが、レシピエント移植コーディネーターのお仕事です。具体的には、検査の手続きを始め、移植の説明、精神的なサポート、移植後の指導を行っており、一生に渡って患者さんと関わっていきます。また、多くのスタッフと連携をとりながら、すべての過程をチーム医療で支えています。

血液透析の場合、定期的な透析施行のため拘束時間がどうしても増えますが、移植をすることで、日常生活や食事の制限が緩和されます。

いただいた腎臓が別の人の身体で元気に生き続ける、透析から解放されて普段通りの生活に戻る、そんな腎移植に魅力を感じ、平成23年度より開始された認定制度をきっかけに、レシピエント移植コーディネーターの資格を

取得しました。

臓器提供後も患者さんが元気に生活を送れるようになることを念頭に置き、どんな看護、支援をしていけばよいか考えながら携わっています。また、外来初診時から入院中、退院後と長期的に患者さんに関わることができるため、対話を重ねながらひとりひとりに合った指導ができるよう心掛けています。

お互いが支え合い臓器提供を決心するため、親族の温かな関係に触れることができた、ひとりひとりの患者さんと一貫して関わり続けることで、患者さんに安心してもらえたりすると、やりがいを感じます。

手術や他人の臓器をもらうことに抵抗を感じる人も多いと思いますが、良い面があることを多くの人に知ってもらいたいです。日本では腎代替療法に占める透析の比率がまだまだ多いのが現状ですが、透析だけでなく、移植も治療の選択肢のひとつになってほしいと語ってくださいました。

病院のお仕事いろいろ

被災地へ駆けつけ医療支援を行うDMAT



写真左：災害対策事務
担当 総務課 主任

川辺 健司
(かわべ けんじ)

中央：DMAT隊長
救急集中治療部 部長

大藤 純
(おおとう じゅん)

右：DMAT隊員
循環器内科 医師

高橋 智紀
(たかはし ともり)

DMAT(Disaster Medical Assistance Team 災害派遣医療チーム)は災害時の急性期に被災地に駆けつけ活動する医療チームのことで、医師、看護師、業務調整員(薬剤師、臨床工学技士などの医療従事者)で構成されています。被災地の病院の一員となり医療支援をしたり、広域搬送という重症患者を被災地域の外に移動させ医療支援をしたりします。どこからどこに何人の患者を運ぶかなどを仕分け、調整することもあります。

高橋医師は令和2年の熊本豪雨災害でDMAT隊員として

熊本県で活動しました。現地では、DMATが行政や自衛隊と協力して孤立集落の調査を行い、被災者の方の避難に向けて調整を行っていました。その中で設営された救護所で傷病者の診察や処方を行いました。

被災地には国内各地からDMATが集まり活動します。1人の力は小さくても、隊員それぞれが自分の役割を果たすことが、DMAT全体の大きな力になり、災害医療が回っていると思うとやりがいを感じます。

被災地への移動時間は長い場合が多く、どのような状況なのか現場に行くまで分からないので不安や緊張状態が続きます。隊員を送り出す側としても、県から要請があればすぐに隊員を派遣する必要があるので、短時間で派遣可能な隊員を集め、段取りをして準備を進めなければなりません。

被災地では被災者の方のプライバシーや心情を傷つけないように、そして、徳島大学病院のDMATとして恥ずかしくないよう行動することを心がけています。

本院のDMAT隊員を増やすことや、徳島が被災したときに全国から派遣されたDMATを効果的に機能させられる仕組みを整えておくなどして、本院のDMATの体制をさらに充実させたいと話してくれました。

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 尿路上皮癌
- 腎細胞癌
- 筋層浸潤性膀胱癌
- 転移性去勢抵抗性前立腺癌
- 肝細胞癌
- 多発性骨髄腫
- 慢性動脈閉塞症
- 潰瘍性大腸炎
- クローン病
- 肝硬変
- 多発性骨髄腫
- 慢性動脈閉塞症
- 潰瘍性大腸炎
- クローン病
- 大うつ病
- 心臓リハビリテーションの適応となる心疾患
- 滲出型加齢黄斑変性
- 糖尿病黄斑浮腫
- 小児2型糖尿病



ご協力
お願いします。

ちけん君は
日本医師会治験促進センターの
キャラクターです。

問合せ：総合臨床研究センター
tel.088-633-9294